

2015年1月発売予定

戦時体制の深化を反映した正金銀行の実相を明らかにする

横浜正金銀行

第10期

マイクロフィルム版

16ミリマイクロフィルム 全99リール セット特価¥1,980,000 [税別]

第10期の構成(下記価格はすべて本体価)

第1集:支配人席書信外	52リール(リール番号 1033~1084)	¥1,196,000
第2集:半期報告	1リール(リール番号 1106)	¥23,000
第3集:諸官衙関係追加	17リール(リール番号 1085~1101)	¥391,000
第4集:営団関係	4リール(リール番号 1102~1105)	¥92,000
第5集:諸通達	23リール(リール番号 1107~1129)	¥529,000
第6集:内規	2リール(リール番号 1130~1131)	¥46,000

「横浜正金銀行」第10期は、第1期で収録されたものの追補版の趣であり、分類の異なるいくつかの資料群から構成されている。いずれも昭和戦前期のものであり、とくに戦時体制が深化した時期の資料群が多く、新しい発見に満ちたものである。

第1集は、各店支配人席宛書信、頭取席宛書信など海外支店公信など128点を収録、第2集の半期報告は第1期第3集に収録されたものの追録に相当する内容であり、第3集はやはり第1期第4集に収録された諸官衙の追録であり、大蔵省あるいは日本銀行関係を収めている。第4集では交易営団関係を中心に、台湾重要物資営団、香港機帆船運営団関係の書類を収録している。第5・6集は第1期第5集の追録に相当し、頭計達、訓達録などの様々な資料と共に明治20年から昭和21年に至る正金銀行内規がカバーされている。